

# 2024年度活動方針

事業の選択と集中。  
財政基盤の強化を図り、組織の持続発展を目指す。

## 重点項目

①ワンフェスユースの再設計と実施

②ネットワークNGOとしての役割の再検討と中期計画の策定

③財政基盤強化（マンスリーサポーター（毎月の寄付）の設定の検討）

④外部の協力者・支援サービスの活用を含めた管理体制の見直しと強化

# NGO間の協力関係を促進し、各団体の健全な発展に寄与するとともに世界平和に貢献する

## 事務局管理

- 組織運営
1. 総会開催
  2. 理事会開催
  3. 常任理事会開催
  4. 理事会選挙

- 事務局運営
1. 会員管理・コミュニケーション
  2. 職員管理(採用/労務)
  3. 会計
  4. 税務
  5. 労務
  6. 広報(情報発信・ウェブサイト管理)
  7. ファンドレイジング

## ODA/政府への 提言活動

1. 声明の発信・賛同

2. 外務省定期協議会

↳ 連携推進委員会  
ODA政策協議会

3. JICA協議会

↳ NGO-JICA協議会  
関西NGO-JICA協議会

4. 調査研究・提言

## 市民への 啓発活動

1. ユースに関わる事業

↳ ・ワン・ワールド・フェスティバル for Youth  
・グローバルな社会課題への探究機会と課題解決のためのユースチームの組織化

2. 分野を越えた市民社会の連携拡大を通じたNGO支援事業

3. 講演/講義

↳ 龍谷大学 NGO論  
その他講師依頼

## NGOへの 支援活動

1. 相談事業

↳ 外務省委託事業 NGO相談員

2. 助成事業

↳ 関西地域NGO活動助成(真如苑協働事業)  
関西SDGs基金(検討)

3. 研修事業

↳ JICA NGO等提案型(検討) JaNISS(事務局)

4. 支援事業

↳ 海外旅行保険制度  
ネットワーク強化

すべての事業に人材育成とネットワーキングを意識

## 財政基盤の強化

事務局運営・活動のための各種委員会

理事会・常任理事会

K-SDGs市民アジェンダ運営委員会

関西地域NGO助成プログラム審査委員会

## 1. ODA/政府等への提言活動（事業名：国際協力を促進するための提言事業）

声明文、意見書などの発信、賛同	理事会	適宜対応、加盟団体への情報共有、ウェブサイト掲載及び発信
定期協議会の参加とNGO側連携推進委員会の事務局運営	NGO-外務省外定期協議ODA政策協議会：岡島（理事） 同 連携推進委員会：委員 熱田（副代表理事） 事務局 栗田 NGO・JICA協議会：栗田 関西NGO-JICA協議会：吉椿（理事）、栗田	各定期協議会への参加、委員・コーディネーター・審査員の派遣を通じて、ODAのアカウントビリティの達成、より質の高い国際協力、市民参加のための提言や制度設計等に係る。 NGO-外務省定期協議会 ODA政策協議会、連携推進委員会 NGO-JICA協議会、関西NGO-JICA協議会
調査・研究		2024年度はNGO研究会は実施しないが、協力の要請があれば、協力をする。加盟団体に向けては支援のニーズ等ヒアリングを続ける。
その他 提言活動	関西SDGsプラットフォーム運営委員：石崎 SDGs市民社会ネットワーク地域ユニットメンバー：岡島、仲井	地域のSDGs推進プラットフォームに参画し、地域でのSDGsの推進、市民の国際協力の参加の創出、地域のNGO活動支援などに関する提言をおこなう。

## 2. 市民への啓発事業（事業名：国際協力に関する知識の普及・啓発事業）

第11回ワン・ワールド・フェスティバルfor Youth	事務局 栗田、仲井、新規採用	10年間の取り組みを振り返ったうえで、従来の形式にとらわれず、ワン・ワールド・フェスティバルfor Youth を再設計し、資金の確保を進めながら、イベントを実施する。
分野を越えた市民社会の連携拡大を通じたNGO支援事業	事務局 仲井 協力：K-SDGs運営委員会	環境系団体や地域のNPO、海外のCSOとの協働の機会を増やす。国際協力NGOを中心に、市民社会全体の認知度やプレゼンスの向上に繋げるべく、分野や地域を超えた協働・連携の機会を増やしていく。
講義・講演 講師紹介	事務局及び加盟団体 栗田	事務局職員で分担して担当、適宜派遣を行う。龍谷大学栗田が非常勤講師として担当。近畿ろうきん・笑顔プラスからの講師派遣やその他講演については、主に栗田が担当する。
京都SDGsラボ	事務局 栗田	SDGsをつなぎ目として、60団体・個人が参加する京都SDGsラボの運営、月例の定例会の開催やイベント企画を行う。
グローバルな社会課題への探究機会と課題解決のためのユースチームの組織化	事務局 仲井→新規採用	関西NGO-JICA協議会の中で、ユースの育成をNGO,JICA共同で行う仕組みについて話し合わせ、その具体的なアクションとして。国際協力ローカルスタディーツアーによる探究を通じたユースアクション分科会の設置具体的な計画と実施を勧めていく
その他イベント	事務局 栗田、仲井、新規採用	スタディーツアー説明会、11月開催の清水寺で世界を語るや京都ヒューマンフェスタ等イベント出展など適宜検討、対応を進め、普及啓発の機会をつくっていく。担当は都度決定する。

### 3. NGOへの支援活動（事業名：NGO活動に関する相談及び支援事業）

相談事業 * 受託	事務局 外務省NGO相談員：栗田、仲井、新規採用	通常受け付けている相談業務と併せ、謝金を支払うことが難しい機関等からの相談や講演の依頼には出張サービス制度を利用して実施する。
関西地域NGO助成プログラム * 共催	真如苑、関西地域NGO助成プログラム審査委員会、事務局 栗田	助成申請団体を増やすことを目的とし、広報を強化する。他の助成団体と助成制度紹介の説明会を開催。
ネットワークNGOとの連携強化 地域CSOとの連携強化 海外NGOとの連携強化	事務局 栗田、仲井	SDGs達成、地域からの国際協力の推進を目的とし、ネットワークNGO同士、及び環境系NGOとの連携や地域のNGOのネットワーキングの構築を目指す。
NGO安全管理イニシアティブ JaNISS事務局	事務局 仲井	JaNISSの会議調整など事務局機能を担当する。
JICA/NGO等提案型プログラム * 申請予定	事務局 栗田	関西地域のNGO/NPO、他セクターが参加するSDGs実践のための研修事業申請を検討する。
関西SDGs基金（仮）の検討	理事 熱田 事務局 栗田	関西SDGsプラットフォームで議論をされてきた関西SDGs基金について、引き続きその構成などを含め、検討会メンバーと調整を進めていく。
海外旅行保険制度による支援	事務局 栗田、菅野	加盟団体向けの海外旅行保険制度。関西NGO協議会を通じて契約いただくことで、通常より割安になる仕組みとして運用を行う。
NGO向けセミナーや交流イベント	事務局 栗田、仲井、新規採用職員	NGO経営に関するケースワークや制度説明など加盟団体向けオンラインのセミナーや交流会を企画、実施する。

### 事務局管理業務

理事会・常任理事会 事務局ミーティング	理事会 5回 程度の開催 事務局ミーティング週1回
定期総会	年1回の定期総会、および必要な場合は臨時総会の開催
会計・労務、法人事務全般	会計処理をはじめとする財務管理、労務、法人事務全般 税務はアウトソーシング、労務についてもITの活用を積極的に取り入れる
会員コミュニケーション	団体・個人会員への情報提供、コミュニケーション、ML/会員情報管理全般 事務局 菅野
ファンドレイジング	財政基盤強化のための取り組みを行う
広報、ウェブサイト管理、ML管理	ウェブサイト管理・運営、加盟団活動体広報支援
ボランティアコミュニケーション	ボランティアと局内の整理やイベントの準備を行う